

(参考)交付金事業を構成する事業

交付金事業 No.	事業名(担当課)	事業費 (単位 千円)	事業目標			効果検証
	事業概要		前回値 (年度)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現(徳島東部地域の市町村との共同計画)(R3.4~R6.3)						
1	徳島東部地域 DMO と連携した観光地域づくり・観光 PR の推進 (にぎわい交流課)	11,350	観光コンテンツ造成数			令和5年は、訪日客数がコロナ禍前の2019年の8割まで回復し、観光消費額は過去最高となる5兆円を超え、インバウンドが本格的に復活する年となった。大坂・関西万博の開催も間近に控え、DMOを中心に広域的・効果的なプロモーションに取り組むとともに、観光DXによる地域一体となったデジタルマーケティングや宿泊・観光施設の再生・高付加価値化を促進し、徳島東部圏域への誘客促進に繋げ、観光消費額の更なる拡大を図っていく必要がある。
	徳島東部地域 DMO と連携して広域的な観光地域づくりを推進し、観光資源の造成・磨き上げを行うほか、戦略的な観光 PR を展開することにより、観光誘客数や交流人口の増加を図ります。		7 (R4)	9 (R5)	12	
「しごと」を担い、まちを元気にする「地域活性化人材」創出事業(R4.4~R7.4)						
2	関係人口の創出・深化 (企画政策課)	1,749	本事業による関係人口創出数 (人) ※累計			ふるさと納税「ふるさとサポーター連」や「阿波おどり公式アンバサダー」の募集により関係人口を増やしてきた。令和4年度から移住交流支援センター公式 LINE を開設し、よりわかりやすい情報発信を行い、関係人口の創出・深化に努めた。
	本市への寄附や移住関心層の拡大、伝統文化を通じた地域の新たな担い手づくりに向け、地域資源を活用して、本市に関わりを持つきっかけづくりや魅力発信に取り組み、関係人口の創出等を図ります。		557 (R4)	1,036 (R5)	300	
	移住促進事業 (企画政策課)	14,377	本事業による移住者数(人) ※累計			移住交流支援センターでのよりきめ細かな相談対応や移住者交流会の開催、リニューアルした移住サイト・各種 SNS を利用した情報発信を行い、移住先としての本市の魅力を発信した。移住体験ツアーは初めて実地で開催し、ふるさとワーキングホリデーとともに定員を上回る応募で人気が高く、実際に徳島市に移住した人もいる。
	移住先としての魅力発信(移住ポータルサイト等)、ふるさとワーキングホリデーなどの移住支援策を推進するとともに、移住交流支援センターを民間委託により運営し、きめ細やかな対応を実施することで移住促進を図ります。		17 (R4)	36 (R5)	24	
	共創のまちづくり推進事業 (市民協働課)	252	新たな事業やコミュニティビジネスを実施した人数(人)			令和5年度は民間プレイヤーと市職員による公民連携協議会を設置し、公・民連携の共創プロジェクトの創出に取組んだ。また、令和4年度に実施した「ソーシャルビジネスチャレンジ」から生まれた取組を、継続的に支援していくことにより、新たに5人の人材が自ら企画した社会課題の解決に資する事業を実施した。
	まちづくり協働プラザをオープンインベーションの場として活用し、公・民・学が連携して社会課題を解決する新たな事業を共創するとともに、まちづくりに参画する人材の育成を図ります。		8 (R4)	5 (R5)	5	
	創業促進事業 (経済政策課)	9,225	創業支援を受けた者のうち創業者数(人)			新型コロナウイルス感染の拡大を受け、各種セミナーの実施回数を減らした後、休止のままのセミナーがある等、年間の創業支援者数が減少していることから、目標を達成できなかった。今後は、セミナー等の周知等により取り組み、創業支援者数を増やし、創業者の増加を進める。
	創業支援等事業者(商工団体、金融機関等)と連携し、創業支援相談会やセミナー等の実施及び学生等を対象とした、ビジネスプランコンテスト等による創業の機運醸成に取り組むとともに、創業予定者等の事業者等を対象に、創業に要する経費、または、事業の発展に要する経費の一部を補助します。		38 (R4)	32 (R5)	65	
	阿波女あきんど塾出張講座 (経済政策課)	20	阿波女あきんど塾出張講座の受講者数(人)			高校生を対象とした講座では、54%の生徒が創業(起業)に関心を持ち、大学生を対象とした講座では、81%の学生が創業(起業)に関心を持つ結果となった。進学者が多くを占める高校生に対して、就職や起業を控えた大学生から、より創業(起業)に対する関心を持ってもらうことができた。
本市を拠点に活躍する女性経営者で構成する「阿波女あきんど塾」のキャストを講師として、創業予備軍である高校生や大学生を対象とした出張講座を実施します。起業体験や仕事に対する考え、働くことの意義、楽しさを伝え、将来のキャリアへの可能性の探求、勤労観や創業意識の醸成を図ります。	430 (R4)		394 (R5)	380		
女性・若者活躍推進支援事業 (経済政策課)	900	セミナー等参加者の就職者数(人)			令和5年度のスキルアップセミナーは、コロナ禍による行動制限が緩和された中での開催となり、参加者は昨年度より7人増加した上で、さらに内容的にも充実したセミナーを開催することができた。また、講座受講生を徳島県と関係団体が主催するマッチングフェアへ案内し、新たに就職が決定又は内定した人は3人となり、残りの受講生も現在も積極的に就職活動をしていることから、あらためて、当該事業の効果を実感した。	
女性や若者が活躍できる環境づくりの推進に取り組みます。女性や若者がその個性と能力を十分に発揮し、仕事をしていくために必要なスキルを身につけるセミナーを開催し、それぞれのライフステージに合った多様な働き方について考える機会を提供します。また、徳島公共職業安定所と連携し、子育て中の女性や若者等を対象とした就職面接会を開催し、就労へとつなげます。		52 (R4)	55 (R5)	45		

交付金 事業 No.	事業名(担当課)	事業費 (単位 千円)	事業目標			効果検証
	事業概要		前回値 (年度)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
	市高生次世代プロデュース事業 (徳島市立高等学校)	408	講座開催数(回)			本事業は、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用したものである。本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことから、対面開催として実施した。支出自体は減少しているが、支出を工夫して事業の開催したものであり、進捗状況を概ね順調とした。令和6年度で国庫補助事業が終了するため、市高の基本方針を踏まえ、今後の事業展開について検討していく必要がある。
	市高生による次世代の徳島市を担う人材の育成を図ることを目的とした事業で、徳島の歴史・文化・産業等についてのさまざまな体験(県内の大学・企業・団体等との交流)を通して、まず地元徳島を知ることを試み、そこから地域創生へつなげようとする。		7 (R4)	11 (R5)	12	

伝統文化と公民連携で推進！SDGs 未来都市とくしま実現事業(R5.4～R8.3)

3	SDGs 推進事業 (企画政策課)	4,513	①包括連携協定による公民連携事業数(事業) ②経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携モデル事業の実施件数(件) ※累計 ③市民のSDGs認知度(%)			①今年度は新たに3社と包括連携協定を締結し、協定に基づく連携事業数は目標値を上回った。今後も企業等との連携事業について、取り組み内容の拡充・新規連携事業の実施を進めるなど本市の課題解決や市民サービスの一層の向上を図っていく。 ②「支える阿波プロジェクト」は新聞等にも取り上げられ、公民連携の取り組みについて市民にアピールすることができた。 ③令和5年11月を「SDGs未来都市・徳島市」の強化月間とし、プロモーショングッズの掲出やイベントを開催するなどの取り組みを実施し、普及・啓発に務めた。
	ひょうたん島エリアをモデル地区とした徳島市 SDGs 未来都市計画に基づき、プロモーション事業の展開や、ダイバーシティと民間活力を原動力として産官学それぞれの強みを生かした公民連携事業を拡大することでSDGsの普及啓発を図るとともに、経済・社会・環境の三側面の好循環をもたらす先駆性のある公民連携モデル事業を実施し、SDGs未来都市の実現を推進します。		133 (R4)	165 (R5)	120	
			— (R4)	1 (R5)	1	
			66.4 (R4)	70.3 (R5)	69	
	阿波おどり「絆」強化事業 (にぎわい交流課)	11,689	阿波おどり公式アンバサダー登録者数(人)			徳島市阿波おどり公式アンバサダー登録数は着実に増加しており、アンバサダーの協力による阿波おどり写真展開催や SNS での魅力発信、オフ会の開催等、アンバサダーとより強い協力体制を築き、阿波おどりの振興に繋げることができた。その成果として、アンバサダー登録者数は着実に増加しており、また公式インスタグラムのフォロワー数は昨年度の2倍以上(2,250人→5,012人)の人数となった。
	2025大阪・関西万博等を見据え、全国の阿波おどり公式アンバサダーと連携し、企画展の開催やSNS等での情報発信を行い、阿波おどりの魅力を国内外に広く発信します。		— (R4)	354 (R5)	—	
	阿波おどり文化継承事業 (にぎわい交流課)	2,160	アウトリーチ受講者数(人)			新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、アウトリーチ事業への参加応募校数は増加してきている。また、1度実施した学校からは毎年の応募があるため、学校側のニーズにも応えられていると考える。
	市内小学生を対象に、阿波おどり育成出前講座を実施し、体験や講座を通じて将来の担い手づくりに取り組むアウトリーチを実施するとともに、県内外の阿波おどりファン等が本場徳島での阿波おどりを体験することにより、阿波おどりの魅力を発信します。		652 (R4)	1,242 (R5)	700	
	阿波おどりの振興 (にぎわい交流課)	11,689	阿波おどりの人出(万人)			荒天により2023阿波おどりは3日間の開催、また「ダイバーシティとくしま連」の実施も見合わせたことから人出数は伸び悩んだ。しかし、徳島市阿波おどり公式アンバサダー登録数は着実に増加しており、アンバサダーの協力による阿波おどり写真展開催や SNS での魅力発信、オフ会の開催等、アンバサダーとより強い協力体制を築き、阿波おどりの振興に繋げることができた。その成果として、公式インスタグラムのフォロワー数は昨年度の2倍以上(2,250人→5,012人)の人数となった。
	新たな運営体制のもと実施される徳島市阿波おどりの持続可能な運営に対して支援を行うとともに、阿波おどりに関するホームページ等を作成し、徳島市阿波おどり公式アンバサダー(個人・法人)と連携した取組を推進するなど、市内外の阿波おどりファン等が阿波おどりを安心して楽しめる環境づくりに取り組みます。また、プロモーションビデオ等を活用した阿波おどりの魅力発信を行うことにより、国内外からの誘客と阿波おどりのさらなる振興を図ります。さらに、阿波おどりの経済波及効果を検証し、本市最大の観光資源である阿波おどりをより効果的に活かしていく材料とします。		46 (R4)	54 (R5)	110	
	SOGIE 啓発推進事業 (人権推進課)	533	電話相談窓口の実施			本事業は、性の多様性の理解を進めるとともに、悩んでいる全ての人に対し電話相談窓口を設置、毎月1回1件以上の電話相談がある。SNSの登録数を増やすためチラシ等の配布により周知につとめる。
	SDGs 実現の鍵となる「ダイバーシティ社会の実現」に向けて、SOGIE(性的指向・性自認・性表現)に関する電話相談窓口を設置するとともに、SNS を活用した広報等の啓発活動を推進します。		— (R4)	開設 (R5)	開設	

交付金 事業 No.	事業名(担当課)	事業費 (単位 千円)	事業目標			効果検証
	事業概要		前回数 (年度)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
2つのX(GX・DX)とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業(県との共同計画)(R4.4~R7.4)						
4	中小企業販路拡大支援事業 (経済政策課)	12,399	「販路拡大に効果があった」と 回答した事業者の割合(%)			本市の中小企業の多くは、経営が脆弱な為、売上げの最大化や コストの最小化に対して十分な経営資源を投下することが困難 であるため、売上げの拡大等に対する取組を補助することによ り、効果が得られた。今後も、さらなる広報活動を行い、事業者 に活用を促していく。
	中小企業的首都圏・海外への販路拡大に向けた取り組 みを支援するため、補助制度等を設けるとともに、専門 家派遣を実施します。		100 (R4)	100 (R5)	90	
	EC参入支援事業 (経済政策課)	2,310	本事業による支援件数(件)※ 累計			事業開始から3年目となり、KPIの達成率は5割強であった。 未達成の要因として広報活動が効果薄となったことが考えられ る。しかし補助金を活用した業者は多岐にわたり、中には新型コ ロナウイルス感染症の影響から抜けだせず本業が芳しくない為、 本補助金を活用し新たな業種へ参入した事業者も見受けられ た。
	ECビジネスに参入し、販路拡大を行おうとする中小企 業者に対し、必要な経費を補助することにより、新規需 要の掘り起こしと収益の改善を図ります。		45 (R4)	58 (R5)	102	
3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム(県等との共同計画)(R4.4~R7.4)						
5	水都・とくしま魅力発信事業 (にぎわい交流課)	1,943	徳島市公式観光ウェブサイトペ ージビュー数(件)			徳島市公式観光サイト「Fun!Fun!とくしま」内での体験型特集 記事の充実や、観光キャンペーン等で同サイトのPRを積極的 に行ったこともありアクセス件数は計画を大きく上回る実績値とな っており、効果的な情報発信につながっていると考える。今後、 これらの情報発信を観光客誘致に確実につなげていく必要性が ある。
	交流人口の増加による地域の活性化や、市民の愛着度 の向上を目指して、阿波おどりや豊かな水辺環境、文 化、歴史など、本市の地域資源の魅力を市内外に発信 します。		481,558 (R4)	694,479 (R5)	500,000	
「グリーン社会とくしま」の実現によるサステナブルな地域づくり推進事業(県等との共同計画)(R4.4~R7.4)						
6	SDGs推進事業 (企画政策課)	4,513	①包括連携協定による公民連 携事業数(事業) ②経済・社会・環境の三側面に 好循環をもたらす公民連携 モデル事業の実施件数(件) ※累計 ③市民のSDGs認知度(%)			①今年度は新たに3社と包括連携協定を締結し、協定に基づく 連携事業数は目標値を上回った。今後も企業等との連携事業 について、取り組み内容の拡充・新規連携事業の実施を進める など本市の課題解決や市民サービスの一層の向上を図ってい く。 ②「支える阿呆プロジェクト」は新聞等にも取り上げられ、公民連 携の取り組みについて市民にアピールすることができた。 ③令和5年11月を「SDGs未来都市・徳島市」の強化月間とし、 プロモーショングッズの掲出やイベントを開催するなどの取り 組みを実施し、普及・啓発に務めた。
	ひょうたん島エリアをモデル地区とした徳島市 SDGs 未来都市計画に基づき、プロモーション事業等やダイバ シティと民間活力を原動力とした公民連携モデル事 業の実施を行い、SDGsの浸透・普及に取り組むととも に、経済・社会・環境の三側面の好循環をもたらす SDGs未来都市の実現を推進します。		133 (R4)	165 (R5)	120	
			— (R4)	1 (R5)	1	
			66.4 (R4)	70.3 (R5)	69	
社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略(県等との共同計画)(R4.4~R7.4)						
7	農商工連携等支援事業 (農林水産課)	1,132	農商工連携により開発した商品 数(商品)※累計			本事業は県が事務局を担う、とくしま6次産業化推進連携協議会 と協働し、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して行 っている事業である。 KPIとして設定している新商品の開発補助について、事業を活 用したのは1件で、事業開始からの累計は12件となり、目標を達 成した。
	6次産業化に意欲ある生産者や商工業者等への支援を 行い、地域資源を活用した高付加価値商品の開発・販 路開拓を支援することにより、地域資源を軸とした地域 産業の活性化を目指します。		11 (R4)	12 (R5)	12	
LINEによる行政サービス拡張事業(R5.4~R8.3)						
8	LINE活用事業 (広報広聴課)	328	公式アカウントおともだち数 (人)			・セグメント配信…利用者がセグメント項目からほしい情報だけ を選択、受信できるようになり、より効果的な情報発信が可能と なった。 ・FAQチャットボット…「マイナンバー」「引越越し」「健康」情報の チャットボットサービスを開始し、利用者の利便性が向上した。 ・防災機能…ハザードマップ検索、避難所・避難場所検索、防災チ ャットボットなどの防災メニューを実装した。
	スマートフォンユーザーの8割以上が利用している LINEで運用している公式アカウントに実装したセグメ ント配信、FAQチャットボット、防災機能を安定的に運 用し、行政サービスの向上を図ります。		— (R4)	21,995 (R5)	21,000	

交付金 事業 No.	事業名(担当課)	事業費 (単位 千円)	事業目標			効果検証
	事業概要		前回数 (年度)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
スマート農業推進支援事業(R5.4~R8.3)						
9	スマート農業推進支援事業 (農林水産課)	662	研修会の参加者数(人)			スマート農業機器の調達事務の都合上、研修会参加募集開始時期が8月後半となったことから目標人数に達しなかったが、研修参加者には機器の使用方法やメリット等を理解してもらうことができた。農業者等へ市で購入したスマート農業機器の貸し出しを行った。
	農業分野における熟練者の知識や労働力の不足を補う「スマート農業」の実装に対する機運の醸成を図ります。		8 (R4)	15 (R5)	20	